

## 道徳のひろば ⑰

## 香川大学：植田准教授を迎えて研修会

10/28（金）、香川大学准教授：植田和也先生をお迎えして、平成30年度から始まる「特別の教科 道徳」の趣旨を踏まえた授業力向上と評価等において研修しました。植田先生には、朝8時に来校していただき朝マラソンの様子から観ていただき、帰る汽車の時間ぎりぎり5時45分まで丸一日、本校の道徳教育の取り組みについて観ていただきました。そして、これからの道徳科の推進に向けて良い評価もいただき、また多くのご示唆をいただきました。

### 一日の様子を熱心に観てもらいました！



朝マラソンの様子を見ていただき、全校児童が一生懸命走る姿に感動していただきました。1年生がこれから走るために体と心を整える準備をしている様子です。遠くに小さく見える円の集団が2年生です。

（朝から走るエネルギーがあるので、朝食をしっかり摂って登校させてください。）



朝の時間、4・5・6年生が音楽祭の発表に向けて練習をしている様子を観ていただきました。

響きのある歌声を聞いて「鳥肌が立ち、涙が出そうだった」と、児童に感動を伝えてくれました。子ども達は、大学の先生に褒めていただき大きな自信になりました。



2時間目には1年1組の道徳の授業を観ていただきました。

「ひつじかいのいたずら」の教材で、うそをついたり、ごまかしたりしないで素直に伸び伸び生活しようとする心情を育てる学習内容でした。1年生なのに、自分の気持ちを素直に表し道徳の学習がしっかりできていること。姿勢を正して学習できるなど学習規律について褒めていただきました。





3時間目には4年生の道徳の授業を観ていただきました。「よわむし太郎」の教材で、正しいと判断したことは、勇気を持って行おうとする態度を育てる学習内容でした。先生からは、自分の思いがたくさん書けることや進んで自分の気持ちが発表できること。また、心情の読み取りが深いことを褒めていただきました。そして、先生より20分休みと昼休みの時間を利用して、北村先生と岡田先生の授業について気のついたことを指導・助言をいただきました。



4時間目にはなかよし学級で、手品などをして交流をしていただきました。子どもたちは、一つ一つの手品に大喜びになり大歓声を上げ夢中になっていました。後で手品の感想をみんなが伝えることができました。先生は、子ども達がとても明るくて雰囲気良く楽しかったと言ってくれました。



5時間目には5年生の道徳の研究授業（公開授業）を観ていただきました。「ブランコ乗りとピエロ」の教材で、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にしようとする道徳的心情を育てる学習内容でした。

5年生は言語力が豊富で心情を上手に表現し道徳的価値の視点が育っていること。また、子ども達が育っているのも、もっと高いレベルを目指せると、これまで積み上げてきた5年生の道徳の授業を褒めていただきました。



講演：「特別の教科 道徳」の導入に向けて、道徳科の趣旨を踏まえた授業力の向上と評価等について、東中筋中学校の先生方と合同で研修しました。

例えば、評価については「数値による評価でなく記述式でおこなう」「個々の内容項目でなく大きくまとまりを踏まえて評価する」「他の児童との比較でなく個々の成長を受け止め、励ます個人内評価をおこなう」「多面的・多角的な見方へと発展しているか」「道徳的価値の理解を自分自身の中で捉えているか」など評価だけでもたくさんのことを学びました。とても為になる研修会になりました。